

アルミ缶 リサイクル ニュース

January
1
2022

Vol. 158

CAN
to
CAN



アルミ缶リサイクル協会

Japan Aluminum Can Recycling Association

東京都豊島区南大塚1-2-12 日個連会館2階
Tel.03-6228-7764 Fax.03-6228-7769 〒170-0005
<http://www.alumi-can.or.jp>

2022年 年頭所感

2022年理事長新年挨拶

新年あけましておめでとうございます。
2022年の年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年、夏場までは新型コロナウイルス感染急拡大の影響でさまざまな自粛や活動制限が求められましたが、ワクチン接種の効果もあり、10月以降は個人消費や企業活動にも少し明るさが戻りました。しかし、年末には新たな変異株の出現や資源高なども起き、先行きに不透明さが残る1年であったと思います。このような状況下、アルミ缶のリサイクル活動に携わる皆様は徹底した感染防止策を取られ、活発な活動をされたと拝察致します。皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。この感染症につきましてはまだまだ予断を許さない状況が続くと思料致しますが、新規に集団回収活動を始められたとのご報告も最近頂くようになり、当協会と致しましても皆様が安心して活動をして頂けるよう行政等が策定したガイドラインの情報発信に努めるとともに、皆様の活動支援に鋭意取り組む所存です。

環境問題に目を向けますと、昨年12月にプラスチック資源循環促進法が成立し、今後プラごみ削減への取り組みが強く推進されることとなりますが、もう一つカーボンニュートラル実現も重要課題となっています。アルミはボーキサイトから新地金を生産する時に比べ、アルミ缶などのスクラップで再生地金を生産するとCO2排出量が約30分の1と言われております。当協会としても政府のCO2削減政策に少しでも貢献できるよう、アルミ缶の再生利用メリットを解り易くお伝えする資料を整え、リサイクル量を安定確保するとともに国内での再生利用量の拡大に努めてまいります。

さて、昨年のアルミ缶市場は夏場の天候不順が影響し、清涼飲料缶の需要は前年よりも若干減少した模様

ですが、RTD向けが堅調であったためにアルコール向け缶需要が微増となり、国産アルミ缶全体の年間需要は前年並みで着地したと見込まれます。これにより8年連続で年間200億缶を超える大量のアルミ缶が国内で消費されていることとなり、アルミ缶リサイクル率の維持・向上と水平リサイクルの推進に大きな責務を感じております。

当協会は容器包装八団体で構成する「3R推進団体連絡会」のメンバーですが、2020年までにリデュース率5.5%の達成とリサイクル率90%以上の維持を目標に活動してきました。2020年度実績はリデュース率が5.8%、リサイクル率が94%となり、それぞれ目標を達成致しました。2021年度からは新たな目標を定め、引き続きその達成に向けて関係者への支援・啓発に努めてまいります。

アルミ缶はその優れたリサイクル性を持つ容器として、早くから皆様に認知され、回収活動は容器包装八団体の中では比較的早期に始まり、今や全回収量の半数を集めている集団回収(学校、自治会、老人会、子供会、福祉施設など)、消費者、自治体、事業者のご協力もあり、リサイクル率は安定して90%以上を維持できております。関係各位には改めて深く感謝の意を表しますとともに、長年に亘るアルミ缶回収活動へのご協力に対して、厚く御礼申し上げます。当協会と致しましても、表彰制度や展示会などによりアルミ缶のリサイクル活動の啓発に努めてまいりますので、引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。



アルミ缶リサイクル協会
理事長 花房 達也

3R推進団体連絡会 第3次自主行動計画のフォローアップ報告

12月3日に当協会を含む容器包装の3Rを推進する八団体が纏めた自主行動計画2020の2020年度フォローアップ報告記者説明会を経団連会館にて行いました。

この自主行動計画は、容器包装の3R、特にリデュース、リサイクルの推進を軸に、事業者が自主的に目標を定め取り組んでいるものです。

リデュースは軽量化・薄肉化など資源の有効活用とごみの減量化を目指す取り組みで、2020年度は8素材中6素材(ガラスびん、PETボトル、スチール缶、アルミ缶、紙製容器包装、プラスチック容器包装)が2020年度目標を達成し、リサイクルでは8素材中5素材(PETボトル、スチール缶、アルミ缶、プラスチック容器包装、段ボール)が2020年度目標を

達成するなどの成果がみられました。

また、容器包装3R推進フォーラムや、意見交換会、3R市民リーダー育成プログラムなどを継続実施し、関係各主体との連携・協働への取組みを深化させました。3R推進団体連絡会は、昨年4月に「自主行動計画2025」を公表しており、引き続き関係主体との連携を深め、循環型社会の推進に努めていきます。



2021年度(令和3年度)回収協力者表彰 全国各地で表彰式

当協会は、アルミ缶の回収活動を行っている団体の中から優秀な活動実績をあげられた方々を毎年表彰しています。本年度は全国で一般66団体、小・中学校44校(受賞者の詳細は前号Vol.157に掲載)が優秀賞を受賞されました。

今年もコロナ禍により、協会から現地へ出向いての表彰は自粛させていただきましたが、回収拠点様のご協力により10月中旬から12月にかけて全国で表彰式が開催されました。

2021年度(令和3年度)「アルミ缶小・中学校回収協力者表彰」表彰風景 (順不同・敬称略)



青森市立長島小学校



青森市立浜田小学校



弘前市立青柳小学校



五所川原市立三輪小学校



長井市立致芳小学校



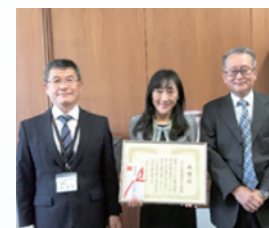
川西町立中郡小学校



小山市立美田中学校



八千代市立みどりが丘小学校



江戸川区立篠崎第五小学校



板橋区立赤塚小学校



魚沼市立魚沼北中学校



裾野市立南小学校



磐田市立竜洋中学校



幸田町立南部中学校



田辺市立龍神中学校



浅口市立鴨方東小学校



浅口市立六条院小学校



福山市立常金中学校

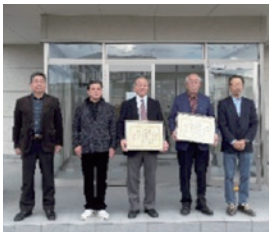


筑前町立三並小学校



筑前町立東小田小学校

2021年度(令和3年度)「アルミ缶一般回収協力者表彰」表彰風景 (順不同・敬称略)



荒川四区町会と
褒懸団地町会 (青森県)



文京町町会 (青森県)



おがのふれあい作業所
(埼玉県)



千住大川町西町会青少年部
(東京都)



赤羽台団地自治会
リサイクル委員会 (東京都)



西池袋南町会 (東京都)



蓮沼中町会 (東京都)



おおぞらはくちょう
(東京都)



亀戸三丁目宮元町会子供会
(東京都)



裏宿町自治会 (東京都)



はらむら悠生寮(長野県)



神山区缶集会 (静岡県)



磐田市南御厨地域づくり協議会
(静岡県)



愛恵協会つどい作業所
(愛知県)



芳養団地町内会(和歌山県)



西八丁子供会(和歌山県)



わかたけ第二事業所
つつじ作業所 (岡山県)



鳩ヶ丘子ども会(岡山県)



岡山子ども協会とよた保育園
(岡山県)



くさのみ福祉会くさのみ作業所
(広島県)



赤池在所地区自主防災会
(徳島県)



神崎市消費者グループ協議会
(佐賀県)



天童会いぶき村(佐賀県)



JAさが塩田支所塩田地区女性部
(佐賀県)



ふれあい作業所(佐賀県)



神崎自治会 (長崎県)



昭和町自治会 (長崎県)



鳴滝町西部自治会(長崎県)



就労プラザわくわく(沖縄県)



オリーブの木 (沖縄県)



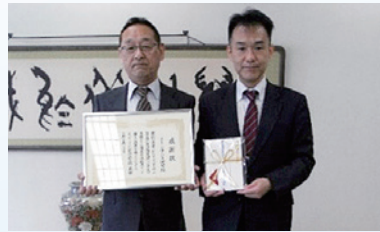
2021年度(令和3年度)アルミ缶優秀回収拠点表彰

昭和58年に「優秀回収拠点制度」を設け、当協会認定の回収拠点様の中から当協会の活動に特にご尽力、ご協力下さった拠点様を表彰しています。本年度は新規として株式会社 福田川商店(東京都江戸川区)とクリーンサービス伊勢(三重県伊勢市)、再選として07年度に受賞した 株式会社 藤原商店(神奈川県大和市)と14年度に受賞したサンコーアルミ株式会社(福岡県朝倉市)に決定致しました。

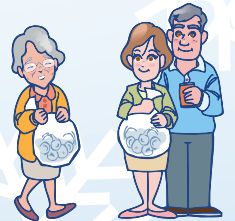
「新規優秀回収拠点受賞」表彰風景(敬称略)



福田川商店



クリーンサービス伊勢



「再選優秀回収拠点受賞」表彰風景(敬称略)



サンコーアルミ



藤原商店



エコプロ2021出展

2020年はコロナ禍によりオンラインでの開催となりましたが、2021年は感染対策を実施した上で2年ぶりのリアルでの開催となりました。会場が狭くなった分入場者は減りましたが、3日間で、5万4千人の入場がありました。当協会のブースでは「わかりやすい!アルミ缶リサイクル」をテーマに現物の展示を主体とし、来場いただいた方に判りやすくアルミ缶のリサイクルについて学んで頂く方式と致しました。

2021年は「密」を避ける為にクイズは中止しましたが、アルミ缶で製作した折鶴・サッカーボール・風車等のオブジェに目を止め、その後でアルミ缶のリサイクルについて熱心に学ばれた方が多かったのが印象的でした。

次回以降コロナの感染状況が好転した場合には、クイズ等での積極的な啓発を考えて行きたいと思えます。



協会からのお願い

● タブは缶から外さずいっしょにリサイクル

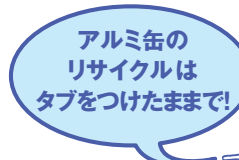
アルミ缶のタブは環境保護のため、缶フタから離れないようにしてあります。タブはタブだけで回収するのではなく、缶に付けた状態で丸ごと回収してください。無理にタブを取るとケガをする場合もあり危険です。

● ボトル缶のキャップの取扱い

飲料用アルミボトル缶のキャップは、アルミ製です。キャップも貴重なアルミ資源です。キャップ・本体とも軽く水洗いした後、中の水分をよく切ったうえで、キャップを軽く締めて回収してください。

● アルミ缶にタバコを入れないでください

アルミ缶にタバコの吸殻を入れると、リサイクルの妨げになるだけでなく、火災の原因になる可能性があります。



編集後記

- 旧年中は色々とお世話になり誠にありがとうございました。本年も宜しくお願ひ致します。昨年同様 コロナ禍で生活が一変した方もいらっしゃると思います。昨今は新株の流行もあるようですが、早く完全収束する事を祈念致します。
- 今年こそ皆様が無事に幸せに過ごせる年になりますように…。

アルミ缶リサイクルニュース第158号

発行日 令和4年1月21日

発行人 保谷 敬三

編集人 小林 裕

発行所 アルミ缶リサイクル協会